

第96回全道メーデーが開催される



5月1日、晴れ渡る青空と暖かな日差しの中、大通公園8丁目広場で開催され、約3000人が結集し、JR連合と共に、北海道地区本部組合員が参加しました。

メインスローガンに「次代につなぐ 平和の願い！みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来を！」を掲げ、主催者を代表して挨拶に立った連合北海道須間会長は、「賃上げが物価上昇に追いついていない、2025春闘は昨年を大きく上回る引き上げだが、中小企業への波及は小さく、すべての働く仲間が賃上げを実感できるようステージを変えていかなければならない。また、平和なくして労働運動はなく、働く者の立場から平和を希求していき、参議院選挙では、生活者が安心して生活できる社会を目指し、連合北海道が推薦する候補者及び比例区の各産別が推薦する候補者の当選をめざそう」と力強く述べられました。

続いて、三橋北海道副知事、秋元札幌市長、連合北海道国会議員団会議会長の徳永参議院議員、勝部けんじ・鈴木まさき参議院議員選挙候補予定者から挨拶の後、メインスローガンとメーデー宣言・特別決議案が採択され、団結ガンパローを三唱し、3つのグループに分かれてパレードを行いました。

「JR連合在札協議会交流会開催」

メーデー終了後、恒例の「JR連合在札協議会交流会」を開催しました。

主催者挨拶・乾杯ではじまり、限られた時間でしたが大いに盛り上がるなか、JR議員団の道議・市議、国会議員からの挨拶を受け盛大な拍手で歓迎しました。

JR北労組・貨物鉄産労の両組合員が楽しいひと時を過ごし、参加者それぞれが職場で奮闘することを確認していました。

